

2 邦人引揚げ問題

(1) 華北

66

昭和12年7月13日

在濟南望月(靜)總領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

濟南方面居留民保護策につき意見具申

濟南 7月13日後発

本省 7月13日夜着

第一五二號(至急)

- 一、當方面在留邦人保護ニ關シテハ貴電ノ通り支那側ニ申入ヲ爲ス一方時局委員會ヲシテ萬一ノ場合ニ處スル具體的對策ヲ用意セシムル等石野武官トモ聯絡協議シ當館ニ於テ最善ノ努力ヲ拂ヒ居ル次第ナル處時局惡化ノ場合ノ對策トシテハ(一)現地保護(二)先ツ婦女子ノミ青島方面ヘ引揚(三)在留民全部引揚等ノ方途アルヘシ
- 二、現地保護ハ當方面邦人ノ權利擁護上ヨリスレハ望マシキ所ナルカ先年ノ濟南事件當時トハ事情異リ假ニ皇軍ノ當

- 方面出動可能トスルモ韓復榘カ之ヲ拱手傍觀スヘキヤ疑ハシク各方面ノ情報ヲ綜合スルニ皇軍ノ山東進出ニ對シテハ韓ノ抵抗アルモノト見ルヲ妥當トスヘシ(當館諜報ニ依レハ韓ハ先般我陸戰隊ノ青島上陸ノ際皇軍ノ青島占據ハ默視スヘキモ同地ヲ一步進出スルニ於テハ之ヲ邀撃スヘシト言明セルコトアリタル由)從テ居留民救援ノ目的ヲ以テスル皇軍ノ山東進出モ却テ其ノ目的ト背馳スルカ如キ結果ヲ招來スル懸念ナシトセス此ノ點ハ青島、天津等ト異リ奧地ニアリ孤立無援ノ當方面居留民保護上最モ考慮ヲ要スヘキ所ナルヘキヲ以テ本省方面ニ於ケル對策考究上特ニ御留意相煩度シ
- 三、然ルニ皇軍ノ山東出動ハ日支間全面的衝突等ノ場合ハ戰略的見地ヨリ疾風迅雷の二行ハルルコトアルヘキヲ以テ是等ノ場合ヲモ考慮シ時局惡化ノ兆アルニ於テハ時宜ニ應シ本官ノ裁量ニ依リ沿線各地トモ聯絡ノ上先ツ早目ニ婦女子ノミハ不取敢青島ニ引揚ヲ慫慂スルコトハ其ノ後

最悪ノ場合全居留民引揚ヲ容易ナラシムル點ヨリスルモ
極メテ望マシト考ヘラルルニ付テハ右ニ關シ何分ノ儀至
急御回電相煩度シ

四、前述韓ノ態度ニモ照ラシ事態悪化ノ場合當方面ニ皇軍ノ
出動ヲ見ルモ現地到着迄居留民ノ生命カ果シテ安全ヲ期
待シ得ヘキヤ甚タ疑ハシク旁全居留民引揚ニ關シテモ時
機ヲ失セス早目ニ之ヲ決行スルコト最モ肝要ト認メラル
ルニ付右ニ關シテモ折返シ何分ノ儀御回電相成度シ
支、北平、青島、天津、張店、博山へ轉電セリ

67 昭和12年7月13日

在濟南望月總領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

駐在武官および居留民代表者と協議決定した

居留民保護方針につき報告

濟南 7月13日前発
本省 7月13日後着

第一五五號(至急)

今次事件ニ對シテハ其ノ進展ヲ注視スル一方之カ對策ニ關
シテハ事件發生以來石野武官トモ聯絡ヲ密ニシ協議シ來レ

ルカ十一日本官石野武官竝ニ在留民代表者ト協議ノ結果不
取敢左記方針ヲ以テ進ムコトニ決定セル處右ニ關シ本官心
得フヘキ點アラハ御電示相仰キ度シ

(一)當地ハ萬一事件擴大シ全面的ニ日支衝突ノ場合ト雖青島
等ノ如ク急速ニ我武力ノ擁護ヲ期待シ難ク現地保護ノ場
合ト雖皇軍到着迄ハ在留民ノ生命財産ヲシテ擧テ支那側
實力ニ委セサルヲ得サル状態ナルニ付事件發生以來當地
支那側ノ態度ニモ照シ(三語不明)在留民ハ特ニ慎重ナル
態度ヲ持シ苟クモ輕舉妄動ヲ避ケ支那側ノ感情ヲ刺戟ス
ルカ如キ一切ノ言動ハ慎シム一方當館ハ韓復榘トノ間ニ
接觸ヲ密ニシ當方面在留民ノ保護ニ關スル萬善ヲ期セシ
ムルコト

(二)政府ヨリ全在留民引揚命令發出スレハ別トシ然ラサル限
リ今日迄築キ上ケタル邦商ノ權益保護ノ見地ヨリスルモ
皇軍ノ來濟有無ニ拘ラス出來得ル限り現地ニ留マルコト
望マシキコト(民間側要望)

(三)在留民引揚ノ已ムナキ事態ニ立至ラハ沿線各地トモ聯絡
ノ上支那側ノ保護ヲ求メ其ノ安全引揚ヲ期ス最悪ノ場合
ニ於テモ沈着ナル態度ヲ以テ處シ在留民ハ一切無抵抗主

義ニテ局面ノ打開ニ努力ス

(四)民團ヲ中心トシ時局委員會ヲ組織ス同會ハ當館指揮ノ下ニ非常ノ場合ニ於ケル在留民ノ安全地點ヘノ集中、警備、情報ノ蒐集其ノ他在留民ノ保護上必要ナル各種事項ニ付當館ニ協力スルモノナル處目下ノ所ニテハ成ルヘク目立タサル様行動スルコト
支、北平、青島、天津、芝罘、張店、博山、坊子ヘ轉電セリ

編注 「三語不明」は後日電報にて「往電第一四六號及第一

五〇號」と修正された。

68 昭和12年7月30日

在濟南有野(学)総領事より
広田外務大臣宛(電報)

時局急転に鑑み濟南および膠濟鉄道沿線の婦女子に対し青島への引揚げ勧告發出について

濟南 7月30日後発

本省 7月30日後着

第一九九號(至急)

北支時局ノ擴大ニモ鑑ミ本官ハ本三十日午前九時二十分居留民團ヲ通シ在留民婦女子ノ青島ヘ引揚げ方懇願ヲ爲シ右ト同時ニ沿線ニ對シテモ張店及博山兩主任ニ對シ管内在留民ニ同様懇願方電報セリ
右引揚げ婦女子ハ當地及沿線各地トモ明三十一日午前八時十分當地發特別列車ニ收容シ同日午後六時五十分青島著ノ豫定ナリ委細郵報ス
支、北平、滿、在支各總領事、博山、張店、坊子ヘ轉電セリ

69 昭和12年8月1日

在濟南有野総領事より
広田外務大臣宛(電報)

残留居留民の多くが引揚げ命令發出を希望しているところ対応方針回示方請訓

濟南 8月1日前発

本省 8月1日夜着

第二一一號(大至急、極秘)

當地ハ婦女子引揚げ(往電第二〇六號)残留者ハ男子約六百五十名ノ外看護婦、旅館女中、特殊婦女等約三十名、張店、

博山管内男子約三百五十名見當ナルカ形勢ノ悪化ニ伴ヒ何レモ相當恐怖ニ怯エ速ニ當館ノ引揚命令發出ヲ希望スル向少カラス之カ慰撫ニ可成リ困難ヲ感シ居ル次第ナルカ本官トシテハ屢次往電ノ如ク韓復榘ニ對シ最惡ノ場合ニ於テモ在留民ノ保護上萬遺憾ナカラム様嚴重交渉シ今日ニ於テモ尙韓ノ誠意ニ相當信頼シ得ルモノト信シ居ル次第ニシテ萬一ノ場合ニハ遲滞ナク全居留民引揚ヲ決定シ得ル様萬全ノ準備ヲ整フル一方是等在留民ニ對シ極力自重平靜ヲ求メツツアル次第ナルカ一方當館ノ避難計畫中第二案タル天津ヘノ避難(天津宛電報第一六號)ハ同方面ノ事態ニ鑑ミ既ニ望薄トナリ鐵道ニ依ル避難ハ目下ノ處青島カ最モ安全且近道ナルカ同地ト雖一旦日本軍上陸等ノ場合ハ直ニ鐵道不通トナルヘク斯テハ結局逃場ヲ失ヒ籠城等最惡ノ結果ニ陥ルノ外ナキ次第ニ付本官トシテハ事態ノ推移、韓ノ態度、中央軍ノ入境如何等極力形勢考察ニ努メ以テ判斷ニ資シ居ル處當地ノ孤立無援ノ特殊事情ニモ鑑ミ今後政府ノ執ルヘキ方針、動向等ニ關シ(特ニ山東出兵ノ件ニ付)御差支ナキ限り本官含迄御垂示ヲ得ンコトヲ希望ニ堪ヘス
尙在留民全部引揚決行ノ場合貴電第五一號御訓達ノ次第ア

ル處已ムヲ得スト認メタル場合ハ本官命令ヲ以テ引揚ケシメ差支ナキヤ又右引揚ノ場合之ト同時ニ當館ヲ一旦閉鎖シ(其ノ際一應支那側ニ當館建物、物品等ノ保護ヲ頼ムコトニ付韓復榘ハ同意シ居レリ)館署員全部避難地ニ引揚ケ同地ニ於テ執務スル外ナキモノト思考スル處右ニ關シ併セテ何分ノ儀至急御電示相仰度シ
支、在支各總領事、滿、芝罘、博山、張店、坊子ヘ轉電セリ

70 昭和12年8月1日

在張家口中根(直介)領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

張家口在留邦人全員の引揚げについて

張家口 8月1日後発
本省 8月1日夜着

第二二一號(大至急、極秘)

卅一日夜湯恩伯ノ部隊一箇師(番號不明)柴溝堡到着設置更ニ本日夕刻大同ヨリ第八十四師及十三軍ノ一部八列車、明二日七列車張家口ニ到着ノ豫定ニテ劉汝明ハ中央軍側トノ接收ヲ待テ百四十三師ヲ撤退退去スル旨省政府ヨリ通報ア

2 邦人引揚げ問題

リ依テ右接收時ニ於ケル混雜ヲ避クル意味ニテ本日午後婦女子及署員ヲ、明日本官全員ヲ引率張北經由引揚ス尙無電機ハ二日朝撤收ノ豫定

北平、天津、上海、滿、承德へ轉電セリ



71 昭和12年8月1日

在青島大鷹(正次郎)総領事より
広田外務大臣宛(電報)

濟南などからの婦女子引揚げによって青島の

人心動揺の旨報告

青島 8月1日後発

本省 8月2日前着

第二九七號

濟南及沿線婦女子三十一日午前八時半濟南發午後九時青島着(豫定ヨリ約二時間遲着)特別列車ニテ約六百五十人(豫定ヨリ少數ナリシハ普通列車ニテ引揚ケタル者アル爲ナリ)引揚ケ來タリタルニ付民團、義勇隊(約四十名)及警察官ニ於テ保護ヲ加ヘ親戚、知人方ニ落着ク者ヲ除キ夫々寺院、學校等ニ收容セリ右大袈裟ノ婦女子引揚ハ沿線及當地日本人殊ニ支那人ニ相當衝擊ヲ與ヘ右義勇隊員ハ婦女子收

容後警察局二局長ヲ訪問シ支那側暴動計畫(八月一日ヲ期シ支那人カ暴動ヲ起スヘク計畫中ナリトノ謠言數日前ヨリアリタリ)ノ責任ヲ問フ手筈ナレハ之カ爲何等事件勃發スヘシトノ謠言飛ヒ偶々支那便衣隊カ發電所ヲ襲撃スヘシ等ノ謠言ト相俟チ甚タシク人心ノ動揺ヲ來タシ同夜十時青島發濟南行列車ノ如キ支那側避難民ニテ滿員ノ有様ナリシカ本一日モ尙支那側避難者衰ヘサル模様ナリ右謠言ニ顧ミ三十一日夜ハ警察官ニ於テ支那側保安隊ト協力シ嚴重警戒ニ當リ何等事故ナカリキ

尙避難婦女子ノ生活方法等ハ差當リ各自ニ於テ仕出屋ト協定スルカ又ハ自炊スル等夫々措置シ居ルモ收容期間及其ノ他ノ身ノ振方等ニ付テハ豫メ篤ト考究ノ要アリ右ニ關シ濟南總領事館ト打合方手配中ナリ

支、在支各總領事、北平へ轉電セリ



72 昭和12年8月2日

広田外務大臣より
在濟南有野總領事宛(電報)

濟南残留居留民の保護方針につき回訓

本省 8月2日後6時28分發

第五六號(極秘、至急)

貴電第二一一號二關シ

政府トシテハ今後情勢ノ推移ニ應シ臨機ノ措置ヲ講スヘキ
コト勿論ナルモ差當リ我方ヨリ進ンテ日支ノ全面的交戦ニ
導クカ如キ積極的工作ハ之ヲ避クル方針ニシテ從テ山東方
面ヘノ出兵モ今後支那側ニ於テ北支方面ニ對シ攻勢ニ出テ
來ルカ如キ場合ハ格別目下ノ處ハ考慮シ居ラサル次第ナル
カ情勢惡化シ已ムヲ得スト認メラルル場合ニハ引揚命令ヲ
發セラレ差支ナク又其際ニハ情勢如何ニヨリテハ貴官ノ裁
量ニヨリ貴館ヲ閉鎖ノ上貴館署員全部モ青島ニ引揚ケ何分
ノ命アル迄同地ニテ執務スルコトトセラレ差支ナシ
支、北平、在支各總領事、滿、芝罘、博山、張店、坊子ヘ
轉電セリ

73 昭和12年8月3日

在芝罘田中(作)領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

芝罘周辺の中国軍動靜に鑑み山東出兵の場合
は居留民引揚げを事前に訓令方要請

第六〇號

芝罘 8月3日後發
本省 8月3日夜着

當地方ニ移動集中シ來レル山東軍(中央軍モ混入シ居ルト
傳ヘラル)ハ日本軍ノ上陸ニ敵對スル爲當地海岸及背後山
丘地一帯ニ防備ヲ施シ日夜警戒體勢ヲ執リ居レル處一方右
戰備ニ伴ヒ當市内ニ日本軍上陸反對ノ暴動説流布サレ支那
人ノ輿地避難者續出ノ現狀ニアリ尙山東軍及威海衛海軍教
導隊ハ龍口、威海衛、蓬萊、牟平、榮城(威海衛)
一帯ニモ防備ヲ施シ皇軍ヲ邀撃セント構ヘツツアリ當地露
國人ノ實見談ニ依レハ牟平ニハ米國、露國人操縱ノ飛行機
六臺到着シ居レリト依テ當館ハ警察局長ニ對シ在留民ノ
姓名財產保護方ヲ一層督勵シ情勢ノ推移ヲ注視シツツアル
(生命カ)
カ現在ノ所猶異常無キモ今後皇軍ノ上陸地點如何ニ依リテ
ハ敗殘兵各地ニ入込ミ掠奪暴行ヲ働ク危險性アリ山東出兵
ノ場合ハ前以テ管内在留民ノ引揚及當館ノ閉鎖ヲ命セラル
ル様豫メ御手配ヲ請フ青島ヨリ第十戰隊ヘ轉報アリタシ
支、青島、濟南、天津ヘ轉電セリ

2 邦人引揚げ問題

74 昭和12年8月5日
在天津堀内総領事より
広田外務大臣宛(電報)

中国中央軍の北上に対しわが方の空爆も想定
されるため至急引揚げ方然るべき旨済南総領
事へ通報について

天津 8月5日後発
本省 8月6日後着

第六九〇號

本官發濟南宛電報

第一三號

貴電第一七號及大臣宛貴電第二四八號ニ關シ
貴官ノ御苦心ハ諒察ニ難カラサル處ナルモ軍トシテハ中央
軍ノ北上ヲ隨時偵察シ狀況ニ依リテハ之ニ空爆ヲ加フル必
要モ生スヘキニ付貴地居留民ハ成ルヘク速ニ引揚ヲ可トス
ヘシトノ意嚮ナリ但シ差當リ偵察ノ爲無用ニ支那側ヲ刺戟
スルカ如キ行動(例ヘハ低空飛行)ハ成ルヘク差控フル様軍
ヨリ飛行隊ニ命令セル趣ナリ
大臣、北平、支、青島へ轉電セリ

75 昭和12年8月6日
在青島大鷹総領事より
広田外務大臣宛(電報)

邦人の自発的引揚げは現地人心の動揺を考慮
して目立たぬ方法で行うよう関係方面に注意
喚起方要請

青島 8月6日後発
本省 8月6日夜着

第三一六號(至急)

當館ニ於テ邦人側ノ輕舉妄動ヲ極力戒メ居ルコト累次報告
ノ通ナル處四日鐘紡ニ於テハ本社ヨリ婦女子引揚ノ命令ニ
接シタル趣ニテ大連經由等目立タサル方法ニテ漸次引揚ク
ヘキ旨申出アリ之ニ對シ本社ノ命令トアラハ已ヲ得サルヘ
キ旨述ヘ置キタルニ五日本件カ同業會ノ席上論議セラレタ
ル處鐘紡カ引揚タルニ於テハ他ノ各社モ婦女子全部(鐘紡
ヲ合シ大人六百子供千二百人)ヲ引揚ケシムヘシトノコト
ニ決定シ之カ爲船一艘「チャーター」スルコト可ナルヘシ
トノ意見ニテ直ニ大阪ノ同業會ヲ通シ船ノ有無ヲ問合セツ
ツアリ然ルニ曩ニ濟南婦女子特別列車ニテ引揚ケ來タレル
際日支人ニ異常ノ動揺ヲ與ヘタルカ本件實現トモナラハ全

在留民及支那人二更ニ一大衝動ヲ與フル惧アリ(本件大袈婆ナル引揚ニハ當地陸海軍側ニ於テモ不賛成ニシテ又在留民中ニハ紡績側ノ措置ニ對シ非難ノ聲高シ)就テハ船ヲ「チャーター」シテ引揚クルカ如キコトハ此ノ際成ルヘク避ケシムルコトト致度ク必要ノ程度ニ從ヒ三々伍々目立タル方法ニテ引揚クル様(當方ニテモ極力説得ニ努メツツアルモ)本省ヨリ同業會側ニ御指示相成度ク結果御回電相成度シ

支、在支各總領事、北平へ轉電セリ

76

昭和12年8月7日

広田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

青島居留民の多数引揚げは政府の平和的解決
への努力に支障を来すおそれがあるため関係
方面に自重指導方訓令

本省 8月7日後5時45分発

第一一三號(至急、極秘)
貴電第三一六號ニ關シ

今後ノ情勢如何ニ依リテハ貴地方事態ノ急變ヲ見ルコトナ

キヲ保シ難キ次第ナルモ當方トシテハ事態不擴大ニ關スル政府ノ方針ヲ堅持シ最悪ノ事態ニ立至ル迄平和的解決方飽ク迄努力ヲ續ケ度キ考ニテ善處シ居レリ(以上部外絶對極秘)從テ之カ爲ノ工作ニ支障ヲ生スルカ如キ措置ハ極力之ヲ避ケ度キ考ニテ右考慮ヨリスル時ハ此ノ際貴地居留民ノ多數引揚ノ如キハ甚タ面白カラスト存セラル尤モ前記當方努力ニ拘ラス萬一最悪ノ事態發生スル場合ヲ顧慮スル時ハ居留民ノ自發的引揚ヲ飽ク迄阻止スルコトハ如何カト思ハルルニ付貴官ハ此上トモ同業會側ヲ指導シテ自重セシメラレ度當方ニ於テハ早速同業會側ト連絡シタル處現地ヨリノ申出ニ對シ汽船「チャーター」不能ナル旨六日回電シタル趣ニテ結局定期船利用ノ外ナキコトト爲レルカ其ノ場合ニ於テモ日支人ニ衝動ヲ與フルカ如キ目立タル引揚ヲ見合サシムル様説示シ置ケリ

要スルニ此ノ際貴地在留民ノ動靜カ直ニ一般情勢ニ影響ヲ及ホス機微ナル事情ニ鑑ミ篤ト前顯當方意ノ存スル所ヲ体セラレ軍側出先及居留民指導方此ノ上トモ御盡力相成度シ支、北平、在支各總領事館へ轉電セリ

77 昭和12年8月9日
在満州国植田大使より
広田外務大臣宛(電報)

張北・徳化方面の婦女子等に多倫への引揚げ

命令発出について

新 京 8月9日後発
本 省 8月9日後着

第六九〇號(極秘)

軍側ヨリ左ノ通り内報アリタリ

一、中央軍ノ察哈爾方面進出ノ情勢ニ鑑ミ張北、徳化方面ノ

在留邦人中老幼者及婦女子ノ多倫引揚方八日發令濟

三、山海關ヨリ承德ニ轉出シ居リシ堤枝隊ノ一部ハ八日既ニ

張北ニ到着セリ(本項部外秘)

北平、天津へ轉電セリ



78 昭和12年8月12日
在濟南有野總領事より
広田外務大臣宛(電報)

濟南および膠濟鉄道沿線からの居留民引揚げ

を軍が作戦上希望している旨報告

濟 南 8月12日後発
本 省 8月12日夜着

第二六四號(部外極秘)

天津發閣下宛電報第六六六號ニ關シ

當地石野武官ハ駐屯軍ト打合ノ爲七日發天津ニ赴キ十一日

歸來セルカ駐屯軍側ノ意嚮トシテ本官ニ内話スル所左ノ通

リ

一、冒頭電ノ今後ノ軍事行動ニ對スル作戰計畫ニ付テハ最近

軍司令部ヨリ中央部ニ既ニ請訓シ其ノ指示ヲ待ツ一方後

續部隊ノ到着ヲ待チ居リ同部隊ハ今月末乃至ハ遅クモ來

月始迄ニハ全部到着ノ見込着キ大体來月初旬中ニハ先ツ

保定ヲ攻撃シ更ニ之ト呼應シ津浦線馬廠ヨリ德州迄ノ中

央軍攻撃ヲ開始スル豫定ニテ一方平綏線方面ニテハ今中

中ニ南口ヨリ攻撃開始ノ筈ナリ(以上司令官及主トシテ

參謀長ノ談話ノ由)

三、駐屯軍側ニテハ河北省内ノ平漢、津浦、平綏各線ノ中央

軍ヲ擊破シ南部ハ石家莊ヨリ德州迄ノ線ヲ確保スルコト

絶對必要ト認メ居ル模様ニ付前顯中央部ニ對スル請訓ニ

對シ裁決如何ニ拘ラス決行ノ考ナルカ如シ

三、右ノ情勢ニ付駐屯軍側トシテハ此ノ際戰略上ノ見地ヨリ
濟南及山東沿線在留民ノ引揚ヲ希望シ居レリ(此ノ點大
城戸參謀談話)

支、北平、上海、青島、天津へ轉電セリ

79 昭和12年8月14日 広田外務大臣より
在芝罘田中領事代理宛(電報)

芝罘領事館および居留民の引揚げ準備方訓令

本省 8月14日後9時38分發

第二六號(至急)

上海方面情勢急迫シ事態ハ悪化ノ一途ヲ辿ルノミト認メラ
ルルニ付貴館々署員ハ居留民ト共ニ引揚方準備ノ上時機ヲ
失セサル様措置アリ度シ

支、北平、在支各總領事へ轉電セリ

80 昭和12年8月14日 広田外務大臣より
在濟南有野總領事宛(電報)

濟南および膠濟鐵道沿線の居留民および在外

公館に対し引揚げ準備方訓令

第六四號(至急)

本省 8月14日發

上海方面情勢急迫シ事態ハ悪化ノ一途ヲ辿ルノミト認メラ
ルルニ付貴館竝ニ在留民ハ沿線ト共ニ引揚方準備ノ上青島
ト聯絡シ時機ヲ失セサル様措置アリタシ

本大臣ノ訓令トシテ張店、博山、坊子へ轉電アリタシ
支、北平、在支各總領事へ轉電セリ

81 昭和12年8月15日 在濟南有野總領事より
広田外務大臣宛(電報)

濟南および膠濟鐵道沿線の居留民および在外

公館の引揚げ実施について

濟南 8月15日後發
本省 8月15日夜着

第二八三號(大至急)

管内在留邦人全部ニ對シ十五日午後六時引揚命令ヲ發セリ
十七日朝當地發列車ニテ沿線全部ヲ引纏メ青島ニ向フ豫定
當館及張店、博山ノ各館署員モ同時ニ引揚ク

支、在支各總領事、北平、滿、芝罘、博山、張店、坊子、

汕頭へ轉電セリ

82 昭和12年8月15日

在芝罘田中領事代理より
広田外務大臣宛(電報)

芝罘居留民に引揚げ命令発出について

芝罘 8月15日後発
本省 8月15日夜着

第八一號(至急)

北平、天津ヨリ大學生入込ミ過激ナル排日路傍演説ヲ爲ス
等兎角空氣面白カラス且貴電第二六號ノ次第モアルニ付十
五日居留民ニ對シ引揚命令ヲ發シ二十日迄ニハ全部大連ニ
到着ノ豫定ナリ尙本官及館署員其ノ他ノ行動ニ付至急何分
ノ命ヲ待ツ

83 昭和12年8月16日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

引揚げ邦人激増で内地への船腹不足のため大

連に避難所設立方意見具申

第三五四號

青島 8月16日後発
本省 8月16日夜着

濟南及沿線各地ヨリノ引揚者ノ大部分ハ依然當地滯留中ナ
ルニ右各地殘留居留民ノ引揚モ一兩日後ニ迫リ居リ是等避
難民及當地居留民ノ内地引揚ニ關シテハ萬全ノ策ヲ講シ萬
違漏ナキヲ期シ居ル處十四日ノ水兵事件以來直接内地ニ引
揚クル者激増シタルカ當地、内地間ノ航路ハ門司折返シ運
航及就航船増配ノ實現ニ拘ラス尙船腹ノ不足ヲ免レス依テ
極力大連航路ノ利用ヲ勸メツツアルモ何分費用關係竝ニ乘
換等ノ爲大連經由ヲ希望スル者少キヲ以テ此ノ際大連ニ避
難民ノ臨時收容所ノ如キモノヲ設ケ(例へハ中學校寄宿舎
二、三箇所ヲ收容所ニ充ツルカ如キ)便宜ヲ計ルニアラサ
レハ到底引揚ノ圓滑ヲ期シ得ラレサル狀態ナリ右臨時收容
所設置ニ關シテハ不取敢當方ニ於テ滿鐵出張所ト打合中ナ
ルカ本省ヨリモ至急滿鐵若クハ關東州廳等ニ交渉セラレ出
來得ル丈ケノ便宜ヲ與ヘラルル様御配慮願度シ

北平、天津、上海へ轉電セリ

84 昭和12年8月16日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

税警團の城陽方面集中による中国側抗日氣運

高揚のため不測事態發生の懸念につき報告

青島 8月16日後発

本省 8月17日前着

第三五五號

往電第三四六號ニ關シ

沈市長ハ天龍カ依然埠頭ヨリ離レサルコトヲ理由トシ事件ヲテキバキ解決セサル決心ト見受ケラレ犯人捜査ニ關シ何等申越ナシ他方税警團ハ假面ヲ脱シ歩兵六千名ト砲兵二連ヲ摩天嶺ヨリ城陽ニ集中シ陸戰隊、保安隊ノ防備愈嚴重トナリ在留外國人ハ戰火ノ青島波及ヲ必然ナリト考ヘ大連或ハ香港ニ避難スル者少カラス十六日外國宣教師及英國新聞記者本官ヲ來訪シ前者ハ青島ニ不戰區域設定案ヲ後者ハ青島ノ中立化問題ヲ持出シ本官ノ意見ヲ求メ(之ニ對シ本官ハ英國總領事ヨリ話アレハ返答スヘキ旨ヲ答ヘ置キタリ)又佛國名譽領事ハ先方ヨリ進ンテ城陽方面税警團ノ行動ヲ述ヘ支那側ハ抗日氣分ヲ煽リ過キ居ルニ鑑ミ第二ノ水兵事

件ノ如キモノ頻發スル惧アリト述ヘ英米居留民ハ萬一ノ場合東海飯店ニ避難ノ準備アル由ナルモ佛國側ハ六十名ノ在留民ヲ同領事館ニ收容スヘキニ付其ノ際ハ何分ノ保護ヲ得度シトノ申出モアリ尙木村ノ内報ニ依レハ膠濟鐵路局ハ今朝ニ至リ出勤率急減シ皆浮腰ニシテ葛光廷モ路局ヲ濰縣方面ニ移轉スルニ至ルモノト觀測セラルトノコトナリ右情勢(濟南居留民ノ引揚ハ相當ノ刺戟ヲ與フルコトナルヘシ)ニ付當方ニ於テハ水兵問題ニ關シテモ市政府ニ餘リ迫ラサルヲ得策ト思考シ豫テ市政府側ヨリ避難民用トシテ提供アリタル當館ニ隣レル支那人博物館ヲ快ク借受クルコトトシ其ノ他折角緊張氣分緩和ニ努力シ居ル次第ナリ
北平、天津、上海へ轉電セリ
厦門、滿へ轉電アリタシ

85 昭和12年8月17日

広田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

海軍陸戰隊はすべて上海派遣となつたため万一に備え婦女子は至急引揚げとし男子も任意引揚げの方針で措置方訓令

第一二七號(極秘、至急)

本省 8月17日 前11時25分発

上海方面ノ情勢ニ鑑ミ海軍ニ於テハ貴地ニ派遣方準備中ノ陸戦隊ヲモ總テ上海ニ差向クルコトトナリタル趣ニテ萬一ノ場合貴地居留民ノ保護ハ差當リハ軍艦ニ依ル外ナキ次第ナリ隨テ此ノ如キ場合ヲモ考慮シ婦女子ノミニテモ船腹ノ許ス限り早目ニ引揚ケシメラルル様(男子モ任意引揚差支ナシ)致シ度ク船舶ニ付テハ當方ニ於テモ遞信省及海軍ト連絡折角努力中ナリ

上海、天津、北平ニ轉電セリ

86

昭和12年8月17日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

青島居留民への引揚げ命令発出は中国側を刺

激するおそれあるため内面指導による引揚げ

措置実行方請訓

青島 8月17日後発

本省 8月17日夜着

第三六六號

貴電第一二七號ニ關シ

當地海軍側ニ達シタル電報ニ依レハ政府ニ於テハ當地婦女子ノ引揚ヲ命シ情勢ニ依リテハ其ノ他ノ者ノ引揚モ然ルヘキ方針ニ決セラレタル趣ノ處本官ハ未タ右引揚命令發出ノ訓令ニ接セサルカ當地ノ事態ハ今直ニ引揚命令ヲ發出スルニ於テハ却テ支那側ヲ強ク刺戟シ局面ヲ惡化セシメ恰モ長江沿岸引揚ノ爲上海ノ事態ヲ惡化セシメタルカ如キ狀況トナラサルヲ保シ難キニ付引揚命令ノ發出ハ此ノ際差控ヘ成ルヘク内面指導ニ依ルコトト致度キニ付右御了承相成度シ尙貴電第一二九號ノ「スケジユウル」ハ同電ノ二ノ趣旨ニ依リ適宜當方ニ於テ調節致スヘク殊ニ收容豫定人員ハ往電第三六一號申進ノ通り到底滿タシ得サルニ付船腹ノ配給方此ノ上トモ御配慮相成度シ

上海、天津、北平へ轉電セリ

87

昭和12年8月18日

広田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

陸海軍が青島の現地保護方針を確認したが居

留民の安全を考慮し内面指導による引揚げ措

置推進方訓令

本省 8月18日發

第一三九號(極祕、部外祕、至急)

往電第一二七號二關シ

冒頭往電ノ如キ事情ニテ出來得ル限り多數配船ノ準備ヲナシタル次第ナルカ其ノ後陸海軍間ニ話合ノ結果青島ハ依然現地保護ノ方針トナリ、海軍側ハ航空部隊、驅逐艦竝ニ陸戰隊ヲ旅順ニ集結セシメ何時ニテモ貴地ニ急行セシメ得ル手配ヲ了シタル趣ニテ(尤モ此ノ際此等ノ兵力ヲ青島ニ派遣スル時ハ却テ事端ヲ起ス惧アルニ付飽迄旅順ニ於テ待機セシムル方針ノ由)右準備ノ整フト共ニ軍側ニ於テハ貴地居留民歸還用ノ配船モ一部停止シ差支ナシトノ考ニ傾キ海軍省ヨリ昨十七日貴地出先ニ對シ居留民ノ歸還ニ關シテハ總領事トモ連絡ノ上善處スヘキ旨訓電セル趣ナリ

軍側ノ考方紋上ノ通ナルカ現地保護ニ依リ居留民ノ安全ヲ保證スル事ハ事實上貴地ニ於テハ困難ナルヘキニ付貴電第三六六號ノ趣旨ニ依リ婦女子ハ出來ル丈ケ早目ニ引揚ケシメ又男子モ任意引揚ハ敢テ留メダテセストノ方針ニテ善處セラレ度(往電第一二九號以上ノ船練ハ遞信省ニ於テモ差

當リ付兼ヌル趣ナリ)尙此ノ上共軍側出先ト充分連絡ノ上出來得ル限り事端ノ發生ヲ見サル様御盡力相成度シ

本電ハ機微ナル關係モアリ取扱方特ニ注意アリ度シ念ノ爲上海、天津、北平ニ轉電セリ



88 昭和12年8月22日

広田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

青島派兵は当面行われない見通しについて

本省 8月22日後11時20分發

第一五三號(極祕、館長符號扱)

貴電第四一七號二關シ

一、既電ノ通り貴地ニ對シテハ現地保護ノ方針ハ之ヲ變更ハセサルモ現狀ヲ維持スルコトニヨリ陸戰隊ノ上陸又ハ陸兵派遣等ノコトナクシテ經過シウレバ此上ナキコトニ付テハ貴地ノ狀勢惡化ノ實情ハ同情ニ堪エサル處ナルモ此上トモ貴地ノ局面ヲ維持スル様内外ニ對シ極力御盡瘁アリ度シ尤モ萬一ノ場合モ考量シ支那側ヲ成ルヘク刺戟セサル様御工夫ノ上貴地ノ狀勢ニ應シ婦女子其他希望者等ハ成ルヘク引揚ケシムル様御取計相成度ク以上御含ノ上

貴地及山東ノ最高權者ニ御折衝相成度シ(貴地米國總領事トモ充分御聯絡アリ度シ)

二、東亞局長ヨリ海軍省側ニ確メタル所ニヨレハ海軍側ニテハ下村司令官ニ對シ派兵決定ノ如キ通知ヲナシ居ラス同人ニ對シテハ冷靜ヲ失ハヌ様隨分申ヤリ居ルニ不拘兎角ハヤリ勝ナリトテ不安視シ居タル由貴官極祕ノ御含迄
三、尙對北支戰略上貴地ヘノ派兵或ハ必要トナル場合ノコトモ軍當局ニテハ考ヘ居ラサルニアラサルモ當分貴地ヘノ派兵ハ作戰上ヨリモ面白カラサル事情アル趣海軍係官ヨリ東亞局長ヘ内話アリタル由右軍機ニ屬スルヲ以テ嚴ニ貴官限りノ御含ニ乞フ

89

昭和12年8月22日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

任意引揚げ者は相当数に上る見込みのため特

別の配船方請訓

青島 8月22日夜発

本省 8月22日夜着

第四三六號

二十二日二十三日ノ特殊婦女ノ引揚げヲ以テ大體婦女子引揚げ一段落ヲ告ケタルカ(尙殘留スル者若干アリ)市中ノ日支商店ニシテ閉店スル者更ニ増加シ日本側商店ニ關シ商工會議所ト協議シタルモ支那人使用人ヲ失ヒ居リ又萬一ノ場合掠奪サルルル惧アリトテ開店ハ問題トナラス日中ト雖人通少ク凄慘無氣味ナル空氣充滿シ居ル一方洋行筋其ノ他如何ナル筋モ商賣ハ全然杜絶シ居リ生活トシテハ「ボーイ」モ逃ケ出シ(當館ヲ初メ邦人家庭ニ於ケル支那人「ボーイ」ハ皆無ト言フモ過言ニアラス)甚タシク困難ヲ感スル當地ニ無爲徒食スルノ無意味ナルト萬一我軍上陸ニ依リ日支衝突ノ際居留民ノ存在ハ我軍ノ行動ヲ牽制スルモノナリトノ理由ニテ此ノ際男子モ内地ニ引揚クル方可ナルヘシトノ意見當地有力者間ニ俄然擡頭セル處(二十二日參事會長、議長、會頭ヲ初メ有力者十五名凝議ノ結果本官ヲ來訪セリ)本官ハ此ノ際男子ノ引揚げヲ命令又ハ勸告スルコトハ當地ノ現地保護ノ主義ニモ反スルノミナラス其ノ影響スル所大ナルモノアルニ鑑ミ引揚勸告ハ飽迄之ヲ差控ヘ貴電第一三九號ノ御趣旨ニ依リ男子引揚希望ハ強ヒテ留メ立テストノ方針ニテ指導シ度キ意嚮ナルカ引揚者ハ或ハ相當數ニ上リ殊ニ婦

女子引揚ノ際殘シ置ケル荷物ヲモ取纏メ歸國スル者多カルヘキニ付之カ爲二十五、六日頃更ニ當地ニ特別配船方御配慮相煩度ク(下村司令官ハ全然同意ス)各方面ノ觀測ニ依レハ引揚希望者ハ三千人内外(現在殘留者四千餘人トノ見當ナリ)ノ豫定ナリ

北平、上海、天津へ轉電セリ



90 昭和12年8月25日

広田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

青島全居留民引揚げの陸海外三大臣決定に伴
いわが方權益および居留民の生命財産保護等
につき青島市長の確約取付け方訓令

別電一 昭和十二年八月二十五日發広田外務大臣より

在青島大鷹總領事宛第一六二号

右三大臣決定

二 昭和十二年八月二十五日發広田外務大臣より

在青島大鷹總領事宛第一六三号

右引揚げ措置の留意点

本省 8月25日前0時25分發

第一六一號(至急、極秘)

本二十四日外務陸海三大臣間ニ別電第一六二號ノ通り方針ノ決定ヲ見タルニ就テハ右貴官限リ御含ノ上右決定ヲ極秘トシ沈ニ恩ヲ被セ之ヲ極度ニ利用スル考慮ヨリ至急沈市長ニ對シ「山東殊ニ青島ノ平靜ハ帝國政府ノ最モ顧念スル所ニシテ之カ爲我方ニ於テハ今日迄事端ノ發生ヲ避クル爲凡ユル努力ヲナシ來レル處今後共右方針ニ依リ極力青島方面ノ治安ヲ確保シ度キ考ナリ。從ツテ我方トシテハ支那側ニシテ挑戰的態度ニ出テサル限リ事ヲ起スカ如キ意向毛頭無之此ノ際支那側ヨリ(1)當方面ニ在ル我方權益竝ニ居留民ノ生命財産ニ對シテハ責任ヲ以テ十二分ノ保護ヲナスヘキ旨竝ニ(2)稅警團其ノ他青島附近ニアル軍隊ヲ平時常態ニ復歸セシムヘキ旨本官ニ對シ確約ヲ與ヘラルルニ於テハ(沈市長其ノ他ヨリ書面ヲ以テ貴官ニ通報セシムルコトヲ得ハ甚タ好都合ナリ)日本政府ニ於テモ青島ニ派兵等ノコトヲセサルハ勿論現在青島ニ在ル我方海軍兵力モ出來ル丈縮少シ最小限度ニ止ムル用意アリ」トノ趣旨ヲ敷衍説明セラレ右ニ對スル沈ノ意向至急電報セラルルト共ニ引續キ出來得ル限リ前記(1)及(2)ノ確約ヲ取付クル様御盡力相成度シ。

2 邦人引揚げ問題

追テ右交渉ニ當リテハ有野總領事トモ緊密ナル連絡ヲ執ラレ度、有野ヨリ何等カノ方法ニ依リ前記我方意向ヲ韓復榘ニモ傳ヘ韓ヨリモ側面ヨリ沈ヲ指導セシムルト共ニ韓自身ノ指導ニモ資スル様配慮セラレ度シ

別電第一六二號第一六三號ト共ニ上海、北平、天津ニ轉電セリ

以上三電ハ軍側ト打合濟

(別電一)

本省 8月25日前0時45分發

第一六二號(至急、極祕、館長符號扱)

- 一、青島居留民引揚方ニ關スル三大臣決定(外部ニハ絕對極祕)
- 二、在青島居留民ノ現地保護ノ方針ハ之ヲ採ラサルコトトス。
- 三、青島在留民ハ全部引揚ケシムルコトトス。
- 三、右引揚ニ當テハ支那側ヲ刺戟セサル様外務官憲ニ於テ適當措置ス
- 四、出先外務官憲ハ山東方面ニ於ケル情報蒐集ノ爲引揚居留民ノ遺留財産保護ヲ名トシ、可成青島ニ殘留セシムル筈

(別電二)

本省 8月25日前1時15分發

第一六三號(至急、極祕)

往電第一六二號ニ關シ

- 一、冒頭往電ノ二ニ依ル居留民ノ引揚ハ正式ニハ往電第一六一號ニ對スル貴方ノ回電ヲ見タル上當方ヨリ何分ノ儀訓電スルヲ俟ツテ始メテ實行セララル譯ナルカ右確定ニ至ル過渡的期間中ト雖モ居留民ハ引續キ任意引揚ケシメラレ度シ

- 二、尙貴地居留民ノ全面的引揚ハ他地方ニ於ケル引揚トハ異ナリ既電ノ如キ事情ニヨリ貴地ニ於テハ絕對ニ事端ノ發生ヲ避ケントスル考慮ニ出ツル次第ナルニ就テハ越軌ノ行動ニ出テ事端ヲ起スカ如キ惧アル者ニ對シテハ假令自己ノ危険負擔ニ於テ殘留ヲ希望スルモ軍側トモ連絡ノ上強制手段ニ訴ヘテモ引揚ケシムル様御措置アリ度尙沈市長其ノ他ニ對シテハ往電第一六一號ノ趣旨御含ノ上今次ノ引揚ハ居留民等ニ對スル不慮ノ事件ヨリ延テ貴地方面ノ事態ニ紛糾ヲ起スカ如キコトヲ豫防セムカ爲ノ日本政府ノ好意的考慮ニ出ツルモノニシテ右以外何等他意ナキ

所以ヲ十分説示セラレ先方ノ疑念ヲ去ルニ努メラレ度シ

91 昭和12年8月25日

広田外務大臣より
在青島大鷹総領事宛(電報)

青島居留民引揚げに関する三大臣決定の理由

について

本省 8月25日午前1時10分発

第一六四號(至急、極秘、館長符號扱)

往電第一六二號ニ關シ

一、青島現地保護ノ方針ヲ採ラサルコトニ決定セル理由ハ國
軍作戦ノ大局ヨリ見テ陸軍ノ派遣ヲ好マシカラストスル
事情アルニ因ルモノナリ

二、尙往電第一六一號支那側ノ確約取付ハ之ニ依リ陸兵ノ派
遣ヲ必要トセサル所以ヲ對内的ニモ一層明確ナラシムル
ト共ニ現地保護方針ノ抛棄ニ對スル一部ノ反對ヲ壓ヘム
カ爲ノ一ノ手トナル次第ナリ

以上貴官限り極秘御含ミ迄

上海、北平、天津ニ轉電セリ

92 昭和12年8月25日

広田外務大臣より
在青島大鷹総領事宛(電報)

青島におけるわが方の戦闘回避措置につき米

国領事へ説明方訓令

本省 8月25日午前0時25分発

第一六五號(極秘)

貴地米國領事ハ從來共青島ニ於ケル日支間ノ危機解消ニ關
シ双方ノ間ニ立チ努力シ來レル經緯モアリ同領事ニ對シテ
ハ往電第一六一號ノ趣旨御含ノ上帝國政府ノ意ノ存スル處
ヲ十分徹底セシメ同領事ヲシテ側面ヨリ沈ヲ説得セシムル
ト共ニ右ニ依リ我方意向ヲ出來得ル限り米國政府ニ反映セ
シムル様御措置アリ度シ

追テ昨廿三日在京米國大使ヨリ「青島ニハ米人避暑客ヤ引
揚避難民モ多數居ルニ付同地ヲ戦闘區域タラシメサルコト
ニ付日本政府ノ保障ヲ得度シ同様支那側ヘモ申入ルル用意
アリ」トノ趣旨申越シアリタリ貴地米國領事トノ接觸上之
ニ觸ルルハ差控ヘラレタキモ貴官御含迄

上海、北平、天津ニ轉電セリ

93

昭和12年8月26日

在青島大鷹総領事より
 広田外務大臣宛(電報)

青島市長の応答振りおよび引揚げに強硬に反

対する居留民の存在を考慮した措置振り請訓

青島 8月26日前発

本省 8月26日前着

第四六一號(大至急、極秘)
 貴電第一六一號ニ關シ

二十五日本官沈市長ヲ往訪シ貴電御來示ノ御趣旨ヲ篤ト説
 明シ沈ノ決意ヲ促シタルニ沈ハ青島ノ平和ハ自分ノ最モ冀
 フ所ニシテ之カ爲苦シキ立場ニ立チ乍ラ努力シ來レル次第
 ニシテ當地ニ戰火起ラハ中日兩國人ニ甚大ノ被害ヲ與ヘ何
 等益スル所ナキヲ以テ極力之ヲ避ケ度キ意嚮ナリ青島ニ於
 ケル日本ノ權益竝ニ居留民ノ生命財産ノ保護ニ關シテハ誠
 心誠意之ニ當ルヘキコトハ責任ヲ以テ申上ケ得ル所ナルモ
 唯事ヲ好ム輩カ中日兩國人ニ相當多キヲ以テ例ヘハ水兵事
 件ノ如キ突發的事件ヲ今後絶對ニ發生セシメスト責任ヲ以
 テ保障スルコトハ頗ル困難ナリ又稅警團其ノ他ノ軍隊ヲ平
 時狀態ニ復セシムルカ如キ軍事的措置ハ全然自分ノ權限外

ノ事項ニシテ之ヲ引受クルコト不可能ナルニ付御互ニ自分
 ノ出來得ル權限内ノ事柄ニ付隔意ナキ打合ヲ致度シト述ヘ
 タルニ付本官ヨリ第二ノ點ニ付即時ニ引受困難ナラハ韓復
 榘トノ共同意見トシ中央ニ我方ノ意見ト共ニ進言スルコト
 出來サルヤ又若シ本件ヲ英、米大使邊ヨリ蔣介石ニ申入レ
 シムルニ於テハ如何ナルモノナルヘキヤト反問セルニ市長
 ハ中央側ニ對スル意見具申ハ自分ノ立場上ヨリスルモ又時
 期遲キ點ヨリモ困難ニシテ又英、米大使ヨリノ申入ニ付テ
 ハ自分ヨリ何トモ申上ケラレスト逃ケタリ依テ本官ヨリ更
 ニ然ラハ兵力ノ現狀維持ヲ約束シ得ヘキヤト質シタルニ市
 長ハ右モ自分トシテハ困難ナリト述ヘタルカ唯紡績警備ノ
 實例ヲ引キ市長ニテ出來ルコト即チ居留民ノ保護ニ關シテ
 ハ總ユル努力ヲ盡スヘク之カ爲必要ナル具體的措置例ヘハ
 日本浪人ノ退去不良中國人ノ放逐ノ如キ點ヲ話合ヒ度シ等
 緩々陳述セルカ軍事的處置ノ點ニ關シテハ遂ニ耳ヲ藉サザ
 リキ

右ノ會談ヨリ察スルニ市長ハ我權益及日本居留民ノ生命財
 産ノ保護ハ誠意ヲ以テ爲スヘキ旨ノ確約ナラハ或形式(例
 ヘハ本官ヨリ之ヲ要求スル公文ニ對スル回答ノ如シ)ニテ

爲サシムルコト困難ナラサルヘキモ稅警團及軍隊ノ復歸ノ點ハ到底之ヲ確約セシムルコト不可能ナリト存セラル又之ヲ確約セシメ得タリトスルモ愈ノ場合之カ如何ナル程度迄信賴シ得ルヤ疑問ナルカ政府ニ於カレテ當地ヘノ出兵ヲ爲ササルコトニ決定セラレタル以上當地ニ於テ支那側トノ摩擦ヲ起スヘキ一切ノ「エレメント」ヲ除去スルコト急務ナルヘク此ノ見地ヨリスレハ差當リ貴電ノ通り居留民ノ引揚ヲ斷行スルコト最安全ナル方法ナル處居留民中ニハ多年築キ上ケタル財産ヲ拋棄シ引揚タルコトハ若シ引揚後我方ノ出兵ニ依リ右財産ノ保護確實ナラハ兎ニ角之ナクシテ結局(或程度ノ市長ノ保障アリトスルモ)掠奪其ノ他ノ危険ニ曝サルヘキコトヲ豫想シツツミスミス引揚クルニ忍ヒストテ強硬ニ反對スル者アルヘキヲ豫想セラルル次第ナリ就テハ政府ニ於カレテ此ノ種引揚者ニ對シ或程度ノ保障ヲ與フル等何等ヨノ方策ヲ講セラレサルニ於テハ引揚者ノ自暴自棄ヨリ意外ノ事端ノ發生ナキヲ保シ難シト存セラルルニ付此ノ點ハ事前ニ充分考慮置キ相成度シ貴電第一六三號ノ一ノ御訓電ト共ニ何分ノ儀大至急御回電相成度シ

追テ沈市長ハ二十六日謝剛哲ト共ニ本官ヲ來訪ノ筈ナリ御

參考迄

北平、上海、天津ニ轉電セリ

94 昭和12年8月26日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

青島全居留民の引揚げに至らざるよう米國を
通じて青島戦闘回避の対中交渉を進めるべき
意見見具申

青島 8月26日前發
本省 8月26日前着

第四六二號(大至急、極秘)

貴電第一六四號ニ關シ

當方ニ於テハ引揚希望者ハ此ノ際遠慮ナク任意ニ引揚ヲ行フヘキ旨ヲ申聞カセ居ルニ拘ラス居留民ハ政府ヨリ引揚訓令接到セルモノナリトテ(當館以外ノ方面ヨリ幾分消息ヲ洩ラシタル由)異常ナル「センセイション」ヲ卷起シツツアリ他方沈市長トノ會談ハ往電第四六一號ヲ以テ御承知ノ通り容易ニ話纏マルヘシトハ豫想セラレス然ルニ居留民中ニハ右往電ニテ申進メタル通り今直ニ青島ヲ離レ難キ者相

當多數アル見込ナレハ居留民全部ノ引揚ハ出兵ノ如キ短期間ヲ見越ス場合ノ外ハ殆ト不可能ナルヘシトテ全部ヲ引揚ケシメントセハ政府ニ於テ相當ノ賠償的救恤ヲ覺悟セサルヘカラサルヘシ就テハ政府ニ於カレ往電第四六〇號米國領事ノ意見ヲ援用セラレ在本邦竝ニ在支米國大使ヲ動カシ飽迄支那側ヲシテ話合ヲ付ケシムルコトニ極力御盡力ヲ仰クコトト致度シ(當方ニ於テモ米國領事ト協力シ支那側說得ニ努ムヘキハ勿論ナリ)本件話合サヘ纏マラハ第十戰隊モ移動スル必要ナカルヘキニ付居留民全部ノ引揚ハ結局必要ナキニ至ルヘシト思考セラレ

本件ニ關シ大至急何分ノ御意見御回示ヲ請フ

95 昭和12年8月26日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

臨時居留民会開催までに引揚げ方針回示方請訓

青 島 8月26日後発

本 省 8月26日後着

第四六四號(大至急)

貴電第一六三號ニ關シ

政府ノ御方針ハ陸海軍側ヨリ居留民ニ相當廣範圍ニ擴マリ居留民モ引揚ノ覺悟ヲ決メツツアリ民團ニ於テハ本日午後五時臨時民會開催ノ豫定ナルヲ以テ其ノ席上本官ヨリ大體ノ方針ヲ説明シ場合ニ依リ命令ヲ以テ引揚ケシムルコトト致度キ處右ニテ差支ナキヤ海軍側ニテハ三十日迄ニ引揚ヲ完了セシメ度キ意嚮ニテ急ク必要アリ依テ本日ノ民會ニ間ニ合フ様大至急御回電相成度シ

96 昭和12年8月26日

広田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

青島全居留民への引揚げ命令發出までに行う

べき措置振りにつき訓令

本 省 8月26日後4時25分発

第一六九號(極秘、大至急)

貴電第四六一號ニ關シ

一、沈市長ヲシテ文書ニ依リ青島ニ於ケル邦人ノ權益及財産

ノ完全ナル保護ヲ約セシメラレ度シ

尙貴官ハ沈ニ對シ我方ハ不測ノ事故發生ヲ防止スル爲出

來得ル限り居留民全部ノ引揚ヲ斷行スヘキニ付支那側ニ

於テモ居留民引揚迄ノ間ハ絕對ニ事故ヲ發生セシメザル
様凡ユル手段ヲ盡サレ度キ旨嚴ニ要請セラレ度シ

二、我方居留民ノ全面的引揚ハ青島ニ於ケル事故發生ヲ防止

センカ爲我方ノ示ス最大ノ好意ナルニ付我方トシテハ支
那側カ我方遺留ノ權益財産及少數在留者ノ保護ニ付全責
任ヲ負フハ勿論青島ニ於ケル支那側ノ軍事行動ハ我方ノ
好意的措置ニ依リ絕對ニ不必要トナリタルニ鑑ミ當然平
常狀態ニ回復スルモノナルヲ期待スル旨ヲ述ヘ此ノ點ニ
ハ余リコダハラズ單ニ云ヒ放シ置クニ留メラレ度

三、貴地米國領領^事ニ對シテハ前記我方ノ措置ト共ニ我方意ノ
存スル所ヲ説明シ置カレ度

四、以上ヲ實行シタル上ハ居留民ニ對シ引揚ヲ命セラレ度
尙遺留財産保護ノ全責任ハ支那側ニ於テ負擔スル次第ナ
ルヲ以テ萬一掠奪等アリタル場合ハ右約束ヲ楯ニ賠償ヲ
要求スル建前ヲ持スルヨリ外ナク、又實際問題トシテ假
令一部ノ居留民カ財産保護ノ爲殘留スルモ、其ノ爲事故
發生スルニ於テハ、賠償ハ却テ取り惡クナル次第ニ付此
ノ邊ノ事情篤ト説明ノ上引揚命令ニ服セシムル様極力御
盡力アリ度シ(尙又救恤ハ當然考慮セラルル所ナルモ他

トノ振合モアリ青島丈ケニ特例ヲ設クルコト不可能ナル
ニ付右御含置アリ度シ)

以上陸海軍ト打合濟

北平、上海、天津ニ轉電セリ

97 昭和12年8月26日

廣田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

青島全居留民の引揚げは政府決定であり引揚

げ命令発出を前提として対処方訓令

本省 8月26日後5時45分發

第一七〇號(大至急、極秘)

貴電第四六二號ニ關シ

「話合サヘ纏ラハ居留民全部ノ引揚ハ結局必要ナキニ至ル
ヘシ」トノ貴見ナルモ貴地居留民ノ引揚ハ屢次ノ往電ニ依
リ御承知ノ通り政府ニ於テ決定セル處ナルニ付テハ往電第
一六三號及第一六九號ノ次第御含ミノ上此ノ際全面的ニ引
揚命令ヲ發セラルルト共ニ殘留ヲ希望スル者ニ對シテモ篤
ト懇談ノ上出來得ル限り大多數ノ者ヲ歸還セシムル様此ノ
上トモ御盡力相成度シ

尙米國側申出ノ件ニ關シテハ種々機微ナル事情アリ當地ニ於ケル話合ハ暫ク之ヲ差控ヘ、貴地ノ形勢ヲ見タル上善處シ度キ考ナルニ付テハ右御含ミアリ度シ

98 昭和12年8月27日

在青島大鷹総領事より
広田外務大臣宛(電報)

必要措置を實行したのち青島居留民に対して
引揚げ命令發出について

青島 8月27日後発

本省 8月27日後着

第四七一號(至急)

貴電第一六九號ニ關シ(青島居留民引揚ノ件)

沈市長ヨリ往電第四六八號ノ趣旨ノ約束ヲ取付ケ冒頭電ニノ申入ヲ爲シ且米國領事ニ對シ説明モ了シタルニ付本廿七日居留民ニ對シ引揚命令ヲ發シ原則トシテ三十日迄ニ引揚シメ事情已ムヲ得スト認ムル者ハ九月二日迄猶豫スルコトトセリ

上海、天津、北平へ轉電セリ

99 昭和12年8月27日

在青島大鷹総領事より
広田外務大臣宛(電報)

現地保護方針の放棄にも鑑み青島居留民に対し
特別救恤を考慮方意見具申

青島 8月27日後発

本省 8月28日前着

第四七九號

貴電第一六九號末段ニ關シ

當地ノ現地保護ハ常ニ上海、天津ト共ニ政府ノ確定方針タリ居留民モ其ノ積リニテ萬一ノ場合ハ我陸海軍ニ依リ生命財産ノ保護ヲ受ケ得ル確信ヲ有シ比較的狼狽セス冷靜ニ時局ノ推移ヲ見送リツツアリ從テ商品等モ依然仕入ヲ續ケ來レル次第ニシテ今回突然ノ現地保護主義拋棄ハ居留民ニ對シ異常ノ衝撃ヲ與ヘタルコト想像ニ難カラス即チ各商社ハ手持商品ヲ處分スル暇モナク(材木會社ノ如キ三百五十萬圓ノ「ストック」ヲ有シ麥酒會社ハ醸造中ノ麥酒七十萬圓アリ又冷藏庫モ麥酒會社ト同一立場ニアリ)多額ノ財産ヲ危險ニ曝スヘク餘儀ナクセラレタルカスル商品ヲ有セサル一般居留民ニ於テモ家具財ハ殆ト全部殘シ置ク外ナク是

等ニ對スル損害ハ元々現地保護ヲ爲ササルコトニ決定シ居ル地方ニ於ケル被害ニ比シ遙カニ甚大ナルモノアリ且又地元各會社ハ事變ノ爲株券等殆ト無價値トナレリ萬一紡績工場初メ各社工場ニシテ破壊セラルルカ如キコトアラハ(且支那側ヨリ實際ニ於テ賠償ヲ得サル時ハ)必ス政府ニ對シ救恤ヲ求メ來ルヘシ一方當地居留民團ニ於テハ事變ノ爲ノ救濟費等ヲ併セ經常費(教員吏員ノ俸給等)モ月二萬圓ニ上リ而モ避難ノ爲ニ門司ニ收容所ヲ設クル計畫アルニ拘ラス收入ノ途ナク困窮ノ一途ヲ辿ル外ナキ有様ナリ二十七日ノ臨時民會ニ於テモ青島居留民ハ最後ノ瞬間ニ至ル迄引揚ノ意ナキモ命令ナラハ言フヘキコトナシトノ悲壯ナル決議ヲ(備註)萬場一致ヲ以テ採擇シ帝國ノ權益及邦人ノ經濟的地位ニ關シ政府竝ニ國民ノ注意ヲ喚起セントスル意氣ヲ示シタル程ニシテ斯ル事情ニアル居留民ニ對シ特別救濟ノ途ナシト突撥ネルコト如何ニモ氣ノ毒ナルノミナラス延イテ將來日本人ノ海外發展ノ意氣ヲモ沮喪セシムルモノト言フヘク遺憾至極ト存セラル就テハ居留民ノ急速引揚ヲ圓滑ナラシムル見地ヨリモ政府ニ於カレテ如上ノ事情篤ト御賢察相成リ當地居留民ニ對シ特別救恤方特ニ御考慮相成度ク右ハ海軍側

ニテモ全く同感ニシテ海軍(當)局ニ對シ意見上申セル趣ナリ

100 昭和12年8月29日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

わが方權益ならびに邦人の生命財産の保護に
尽力すべき旨の青島市長回答要領報告

青島 8月29日後発

本省 8月29日後着

第四九〇號

往電第四七一號ニ關シ

八月二十八日附沈市長ノ公文回答要領左ノ通り

在留日本人ノ生命、權益、財産竝ニ引揚日本人ノ權益竝ニ財産ノ保護ハ當然力ヲ盡シテ御來示ノ通り取計フヘキモ右保護ニ當リ本市政府ハ左記ノ通り聲明ス

(一)紡績等ノ工場、公共機關竝ニ個人ノ住宅等ノ財産ハ夫々

當該責任者ニ於テ釘付封印ヲ爲スヘシ點檢セサルヲ以テ右内容ヲ知ルコト能ハス唯外部ニアリテ保護及治安ヲ維持スルモ内部ノ財産ニ對シテハ保管ノ責ヲ負ハス

(二) 家屋ニ貼付セル封印用紙ノ風雨又ハ其ノ他ノ原因ニ依ル毀損ニ對シテハ責任ヲ負ヒ難シ

(三) 總テ財産カ天災地變等不可抗力又ハ日本軍ノ青島或ハ其ノ附近攻撃ニ依リ兩國間ニ軍事行動發生シ之ニ依リ生シタル損害ニ對シテハ何等ノ責任ヲ負ハス尙青島ニ殘留スル日本人ノ姓名、職業、住所ヲ承知致度ク是等殘留者ニ對シ其ノ行動ニ注意スル様命令アリ度シ尙引揚ケタル日本人工場、商店ノ所在ハ「リスト」ヲ作成ノ上送付アリ度シ

北平、天津、上海へ轉電セリ

101 昭和12年8月29日

在青島大鷹總領事より
広田外務大臣宛(電報)

總領事館を含む一切の邦人の徹底的引揚げを
軍側恣意につき対処振り請訓

青島 8月29日後発

本省 8月30日前着

第四九八號(至急、極秘)

往電第四九一號ニ關シ

更ニ陸海軍側ヨリ當館存置ノ理由タル情報ノ蒐集又ハ殘留財産ノ保護カ不可能ナルニ當館カ殘留シ爲ニ相當數ノ居留民殘存スルコトナラハ海軍トシテ或程度ノ兵力(驅逐艦一隻位ニテモ)ヲ殘ス要アリ萬一不祥事件勃發ノ際ハ結局縮少セラレタル現地保護ノ結果トナルヘキカ右ハ派兵セストノ我國策ニ反スルヲ以テ寧ロ一切ノ邦人引揚ヲ行ヒ不祥事件發生ノ機會ヲ一掃スルコトコソ右方針ヲ徹底セシムルモノト言フヘク更ニ右ハ我方決意ヲ支那側ニ示ス爲ニモ效果のニシテ速ニ現在ノ一部殘留ノ如キ不徹底ナル態度ヲ拋棄スルノ要アリ右ノ結果例ヘハ電燈會社ノ如キハ邦人技師離青ノ爲發電不能ニ陥リ或ハ水道「ポンプ」モ運轉ヲ停止シ排水ニモ困難ヲ生スルノ結果トモ相成ルヘキカ右ハ支那側ヲシテ我方トノ離反カ如何ニ不得策ナルカラ痛感セシムルコトトナリ(歐米人技師ハ目下時局ニテ容易ニ見付カラサルヘシト觀測シ居レリ)却テ好都合ナリトノ見解ニテ當館始メ一切ノ邦人ノ徹底的引揚ヲ恣意シ來レリ

右ハ稍極端ナル議論ト誤解セラルル惧アルヘキモ事實情報ノ入手等困難ナル今日我方方針ヲ徹底セシムル意味ニ於テ充分考慮ヲ拂フヘキ主張ト存セララルルニ付右ニ對シ本省ノ

御意見折返し御回示相煩度ク海軍側措置ノ都合モアリ三十日中ニ御回電ヲ請フ(冒頭往電申進程度ノ情報ニテモ之ヲ得ル爲當館殘留ノ要アリト認メラルル場合ト雖政府ノ斷平タル方針ヲ徹底セシムル點ヨリセハ宜シク總引揚ヲ爲スヘキ筋ト存セラル我方ハ全居留民退去ノ時ト雖事ヲ構ヘタルコトナク然ルニ我方ハ十人ニ減少スルモ支那側ヨリ事ヲ起ス可能性アル次第ナリ從テ往電第四九〇號公文文中ニ日本人側ノ自制ヲ要求シ越セルカ如キハ支那側トシテハ言語道斷ノ申分ト存セラル)

北平、天津、上海へ轉電セリ

102 昭和12年8月30日 広田外務大臣より
在青島大鷹總領事宛(電報)

總領事館を含む青島全居留民の引揚げ措置実

施行訓令

本省 8月30日發

第一八六號(大至急)

貴電第四九八號ニ關シ

一、陸海軍トモ協議ノ結果諸般ノ情勢ニ鑑ミ結局貴館ヲ始メ

貴地在留邦人全部ヲ引揚ケシムルコトニ決定陸海軍ヨリモ夫々貴地武官宛電報濟ニ付右トモ連絡ノ上至急措置アリ度

二、右ハ既電ノ通り飽迄事端ノ發生ヲ豫防セントスル我方ノ平和的意圖ニ出ツル次第ナルニ付右ノ點貴地各國領事ニ充分徹底セシメ置カレ度

三、支那側ニ對シテハ右我方引揚ノ理由ヲ懇説シ殘留財産保護方ニ付此上トモ念ヲ押スト共ニ市政府、電燈會社等ノ使用人ニ對シテハ出來得レハ事件一段落後ノ再雇傭ヲ保證セシメ置カレ度

四、尙引揚ノ際ニハ貴官ノ名ヲ以テ「帝國ハ山東方面ノ平和維持ノ爲極度ノ犠牲ヲ拂ヒ居留民ノ全面的引揚ヲナスニ至レル次第ナルヲ以テ支那側ニ於テモ之ニ對應シ全責任ヲ以テ帝國ノ權益及遺留財産等ノ保護ニ任シ我方ノ好意的措置及之ニ伴フ當然ノ要望ヲ蔑視蹂躪シ帝國ヲシテ隱忍シ得サル破目ニ陥ラシムルカ如キコトナキヲ切望ス」トノ趣旨ヲ聲明セラレ度

上海、天津、北平ニ轉電セリ

103

昭和12年8月31日
広田外務大臣より
在本邦ドツツ英国代理大使宛

青島方面の平靜保持のため多大の犠牲を忍び
わが方は青島居留民の全面引揚げを實行する

旨通報

付記

昭和十二年八月二十五日付、在本邦ドツツ英

国代理大使より広田外務大臣宛公信第一二四

号

青島戦闘回避のため一定条件の下に青島市を

安全地帯と宣言する旨の英国提案

亞一普通第一四八號

拜啓陳者本月二十五日附第一二四號貴信ヲ以テ一定條件ノ
下ニ帝國政府ニ於テモ青島市ヲ安全地域ナリト宣言スルニ
同意セラレ度キ趣御申越ノ次第閣悉致候

青島地方ノ平靜ハ帝國政府ニ於テモ最モ顧念スル所ニシテ
同方面ニ於ケル事端ノ發生ヲ防止スル爲帝國政府ハ今日迄
凡ユル努力ヲナシ來レルモ市當局ノ之ニ對應スル措置我方
ノ期待ニ副ハス、爲ニ同地ノ情勢刻々險惡トナリ來レルヲ
以テ帝國政府ニ於テハ遂ニ一大決心ヲ以テ萬一居留民等ニ

對スル不祥事件ノ發生ヨリ延テ同方面ノ治安ニ動搖ヲ來ス
カ如キコトナキヲ期スル爲同地居留帝國臣民ノ全面的引揚
ヲ實行スルコトナレル次第ナル處帝國カ同地方ニ莫大ナ
ル權益及居留民ノ永年ニ亘ル努力ニ依リ開拓シタル地盤ヲ
有スル事實ニ顧ミ前記帝國政府ノ執リタル居留民引揚ノ措
置ハ帝國トシテハ極度ノ犠牲ニ有之、此ノ一事ニ依ルモ貴
國政府ハ青島方面ノ平靜保持ニ對スル帝國政府ノ誠意ヲ十
分諒トセラルルモノト確信致候

尤モ帝國政府トシテハ帝國カ極度ノ犠牲ヲ拂ヒ居留民ノ引
揚ヲ實行スル以上支那側ニ於テモ之ニ對應シ全責任ヲ以テ
帝國居留民遺留ノ權益、財産竝ニ已ムヲ得サル事情ニ依リ
殘留スルコトアルヘキ少數帝國臣民ノ保護ニ當ルト共ニ青
島及其ノ附近ニ於ケル支那側軍事行動ハ右帝國政府ノ和平
的措置ニ依リ全然不必要トナリタルニ鑑ミ之ヲ平常狀態ニ
回復スヘキモノナリト思考シ右ニ關スル支那側ノ明確ナル
保障ヲ要望シ折衝中ニ有之候處、在青島帝國總領事ヨリ今
日迄ニ接到セル報告ニ依レハ青島市長ノ態度甚タ不満足ニ
テ既ニ居留民ノ遺留財産ニ對スル小規模ノ掠奪モ隨所ニ起
リ居ルノミナラス帝國總領事自身ノ同地殘留スラ安全ヲ期

シ難キ事態ニ進ミツツアル趣ニテモアリ帝國政府トシテハ
支那側ニ於テ速ニ反省シ我方ノ好意的措置及之ニ伴フ當然
ノ要望ヲ蹂躪シ帝國ヲシテ隱忍シ得サル破目ニ陥ラシムル
カ如キコトナキコトヲ切望シ居ル次第ニ有之候 敬具

昭和十二年八月三十一日

廣田 弘毅

在京

英國代理大使

(付記)

British Embassy, Tokyo.

25th August, 1937.

No. 124

Immediate

My dear Minister,

I have today received from my Government a telegram instructing me to approach Your Excellency with the request that the Japanese Government should agree to declare Tsingtao a safety area on the basis that Chinese

troops will not advance beyond a determined line provided that the Japanese agree not to land forces.

In view of the large numbers of British nationals, including women and children, now at Tsingtao whose lives would be endangered and the evacuation of whom would involve great difficulty and hardship, His Majesty's Government consider that every effort should be made to avert hostilities in this area.

His Majesty's Ambassador at Nanking has received instructions to approach the Chinese Government in the same sense.

Believe Me,

My dear Minister,

Yours very sincerely,

Signed: J. L. Dodds.

His Excellency,

Mr. Koki Hirota,

H.I.J.M. Minister for Foreign Affairs.

~~~~~

104

昭和12年9月1日

在青島大鷹総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

総領事館閉鎖および残留居留民全員の引揚げ

予定につき報告

青島 9月1日後発

本省 9月1日夜着

第五一八號(極秘)

當館事務ハ三日午後一時ヲ以テ閉鎖シ四日午前九時國旗降  
下式ヲ行ヒ同日正午出帆ノ原田丸ニテ本官以下館員及残留  
居留民全部大連經由内地ニ引揚クル豫定ナリ  
尙殘存電信符號ハ四日午前九時半シ號一部ヲ除ク外全部燒  
棄ス

天津ヨリ北平ニ轉報アリタシ

天津、上海へ轉電セリ

